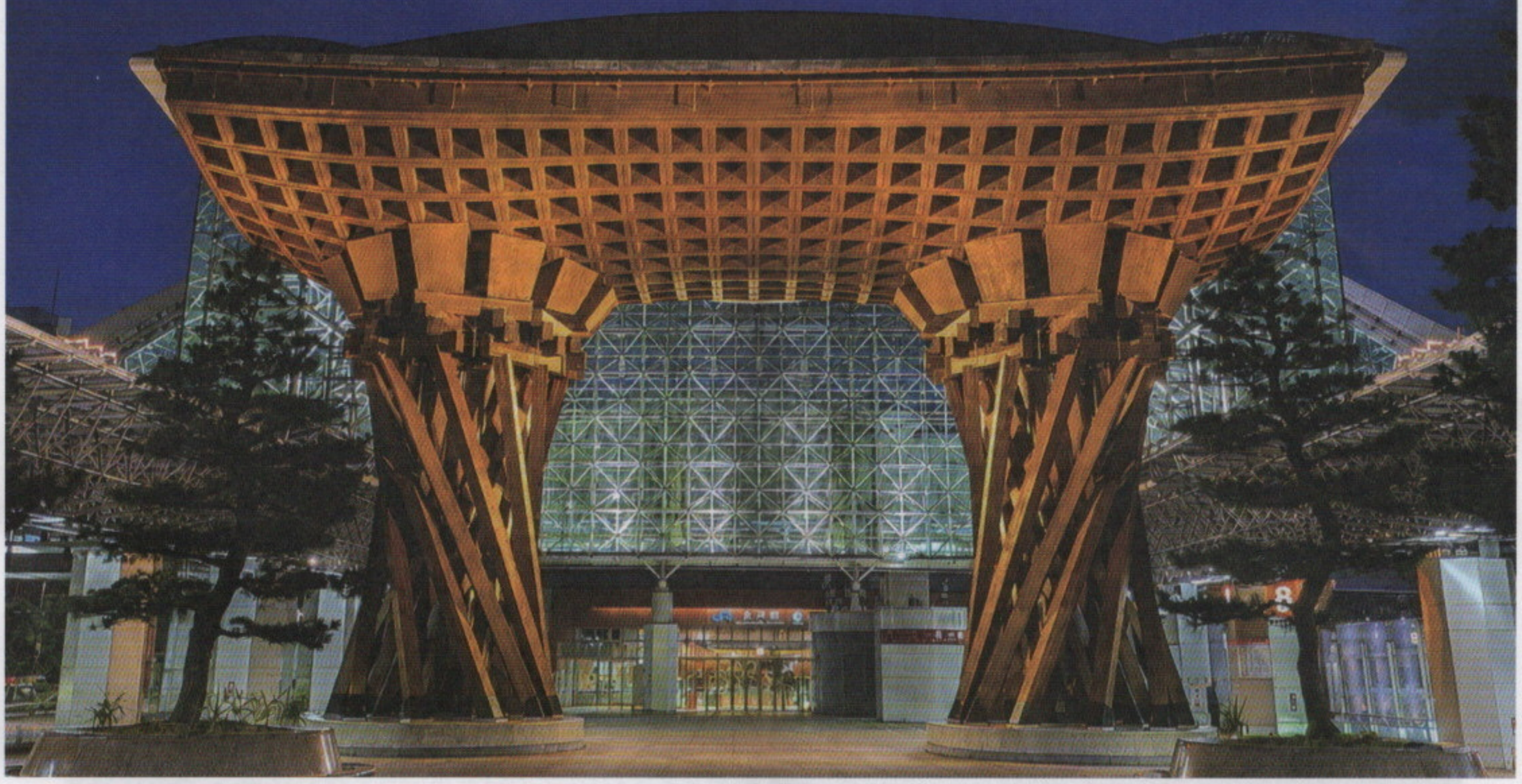
更生保護
こうせいほご

かなざわ

第93号
令和8年9月30日
発行

イエローライトアップ



7月1日から全国で始まる**「社会を明るくする運動」**のオープニングイベントが鼓門でも行われました。
総理大臣メッセージが村山金沢市長に渡され、鼓門のライトアップで6日間鼓門がイエローに光りました。









ホゴちゃん

社会を明るくする運動は犯罪や非行を防止し、新たな被害者も加害者も生まない安全で安心な社会を築くことを目指す運動です。

イエローライトアップは全国約160か所でおこなわれました



舞 鶴 市



彦 根 城



新潟県庁



熊 本 城



韮山反射炉

写真提供は各保護司会、法務省のHPより



金沢の魅力

金沢保護観察所長
吉原直深

本年4月1日付けで東京保護観察所立川支部から転任してまいりました。よろしくお願いします。

さて、6月29日に実施された、金沢駅鼓門における“社会を明るくする運動”イエローライトアップイベントは、多くの市民の皆さまに、更生保護活動、そして保護司を始めとする更生保護ボランティアの方々の存在を知っていただく貴重な機会となりましたことを、大変嬉しく思っております。

ところで、4月以降、私は金沢の街巡りを楽しんでおりますが、金沢は、食、自然、文化、芸術など、大変魅力的なところですし、何よりも人の温かさを感じる土地です。私が4月に転居してきたことを伝えると、皆さまが「ようこそ金沢へ」とおっしゃり、温かく受け入れてくださいます。これは正に金沢を愛するお気持ちの表れではないでしょうか。これからも、保護司の皆さまを始め、金沢を愛する市民の皆さまとの交流を、楽しみにしております。

公開ケース研修会

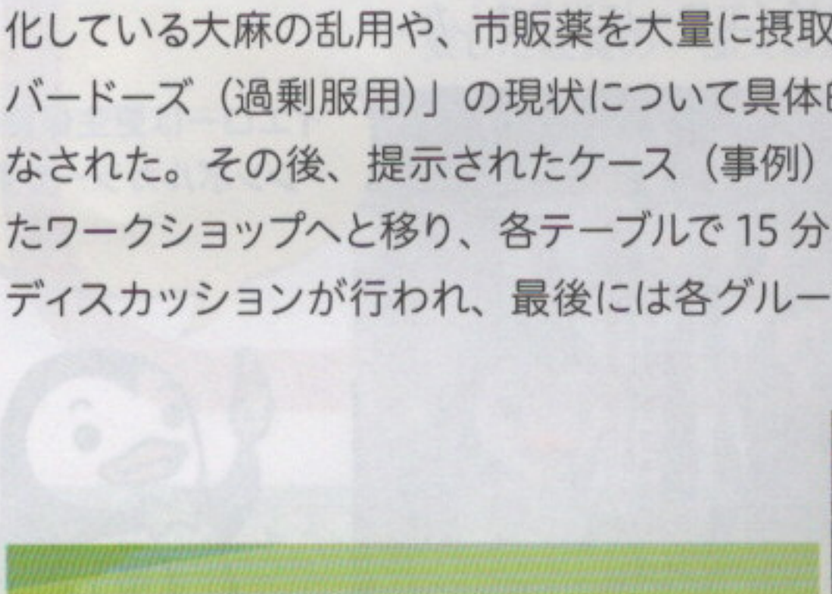
◆令和8年7月16日（木）　◆金沢市教育プラザ富樫

2026年7月16日、金沢市の教育プラザ富樫にて「第76回社会を明るくする運動 公開ケース研究会」が開催された。当日は、PTAや育友会、公民館、子ども会、婦人会、学校関係者など、地域の安心・安全を支える多様な団体から約50名が参加した。

今回は保護観察所から井南保護観察官を講師に迎え、「若者と薬物問題」をテーマに講演が行われた。近年深刻化している大麻の乱用や、市販薬を大量に摂取する「オーバードーズ（過剰服用）」の現状について具体的な解説がなされた。その後、提示されたケース（事例）をもとにしたワークショップへと移り、各テーブルで15分間の活発なディスカッションが行われ、最後には各グループから2分間ずつの成果発表が行われた。

若者の薬物汚染やオーバードーズが、決して遠い世界の出来事ではなく、私たちの身近な地域社会にも潜む深刻な課題であることを強く実感した。ディスカッションを通じて、家庭や学校、地域団体がそれぞれの垣根を越えて意見を交わしたことは非常に有意義であった。若者が孤立せず、悩みを抱え込んだ際にSOSを出せる環境を作るためには、地域住民が一丸となった見守りと体制づくりが不可欠である。本研究会で得た知見を活かし、今後も各団体が連携を深めながら、若者を地域全体で支える活動を継続していくことが重要だと感じた。

南西分区　中田 明秀



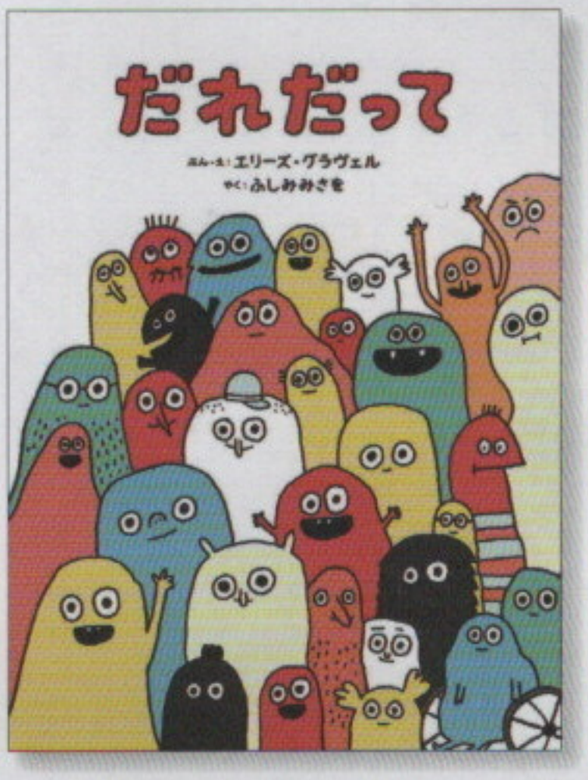


若者と薬物問題

第76回 “社会を明るくする運動”

絵本贈呈

小中学校の連携事業として、標語の募集の他に、
各小中学校へ毎年絵本を贈呈しています。



小学校寄贈　「だれだって」

誰でも楽しく感じる時があれば、悲しい時もある。
誰でも時には怒るし、ちょっと怖いなと思うことがある。
それぞれ個性があるけれど、思っている以上にみんな似ている。あなたと同じように…。相手の立場や気持ちを想像し理解することで、よりよい人間関係をつくる、共感力（エンパシー）の大切さをユーモラスなイラストで伝えるカナダのベストセラー絵本です。



米泉小学校



読み聞かせ 鞍月小学校

生徒さんから、
読書感想文を
いただきました。



中学校寄贈　「二番目の悪者」

自分勝手な金色ライオンが、街の王になるために、心優しい銀色ライオンの嘘の噂話を流し、街の者達を騙して王になる話です。噂話はすぐに街の住民達に広まり、みんながそれを信じた結果、街が荒れて崩壊してしまいました。本の中に「誰かにとって都合のよい嘘が世界を変えてしまうことさえある。」という言葉がありますが、すぐに情報をうのみにするのではなく、大事なことは自分の目で見てしっかり判断することが大切だと思いました。

泉中学校　２年　小鍛治 理生

持続可能な保護司制度のために

保護司のしごとってどんなかな？

（ほごし）

Q1 保護司さんってどんな仕事をしているの？

A1　保護観察所（法務省の地方機関）と協力をしながら、罪を犯した人や非行少年が社会の中でやり直せるよう、それらの人と定期的に会って生活を見守ったり、刑務所や少年院といった矯正施設に入っている人がスムーズに社会に復帰できるよう、住む場所や支えてくれる人など帰ってきたときの環境を整える仕事をしています。



　また、犯罪や非行のない安心で安全な社会を目指し“社会を明るくする運動”などの広報活動も行っています。

Q2 金沢の保護司さんはどこにいるの？（どこで仕事をしているの？）

A2　保護司は金沢市内の全域にいます。校下をひとつの目安として、そこに住んでいる罪を犯した人などへの支援や広報活動に取り組んでいます。

Q3 どんな人がしているの？

A3　男女問わず活動しており、50～70歳代の人が多くなっていますが、20歳代の人もいて、幅広い年齢層で構成されています。

　また、職業も会社員、公務員、宗教家、自営業、主婦など様々です。

Q4 保護司の仕事は無償ですか？

A4　保護司は、非常勤の国家公務員という立場で更生保護活動を行うボランティアであり、その活動に対して給与は支給されません。ただし活動に要した経費の一部又は全部が国から支給されます。



保護司についてのお問い合わせ

金沢保護観察所　企画調整課まで　Tel.076-261-0058

第49回 有名作家チャリティ作品展 出品者御芳名

◆金沢駅西合同庁舎6階研修会議室
◆令和8年7月28日（火）～31日（金）

市川　篤	江守マリ子	海道　正人	加賀谷多枝
加藤　華京	川畑　美水	小谷　純子	島村　廣志
高野　郁子	竜生　成麻	土田　貴夫	寺尾ユリ子
中川　琴鈴	中村　雅子	中山　和良	西野健太郎
波津　彬子	林　千賀子	聖川　重俊	前田真知子
三輪由紀子	村上　秀康	村中　道尊	森　左馬尉
山下　美幸	山岸　光代	吉塚　春生	（順不同）

以上、金沢保護区保護司会関係者からお願い致しました方々です。
御協力ありがとうございました。

編集後記

　全保連の研修でオランダのICC（国際刑事裁判所）を視察し、その後赤根智子所長と全国の保護司会のメンバーでお話する機会がありました。赤根所長は、「保護司という日本独自の活動を広め、日本人はこんなに価値のある事をしていると世界に発信することが、国際社会の中での日本の発言力を高めることに繋がります。どうか、保護司を頑張って下さい。」と励まして下さいました。がんばります。

本誌はユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすさに配慮しています。

発行者／金沢市高岡町7-25 松ヶ枝福祉館 4F　金沢保護区保護司会 会長 北形正美